

港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会の概要

1. 概要

近年、港湾工事においては、構造物の大型化や施工効率向上のため、大規模で複雑な仮設等を伴う工事が増加している。また、厳しい気象・海象条件や複雑な地盤条件のもとで実施する工事も多い。

港湾工事全般の安全確保に資するため、港湾工事における大規模な仮設工事等に関する汎用性のある知見や技術の蓄積を図ることを目的とし、「港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会」を設置する。

2. 体制

委員会は、本省港湾局が設置し、学識経験者、行政機関、研究機関等のメンバーで構成する。

実務的な検討を進めるため、実務担当者からなるワーキンググループを設置する。

3. 検討項目

港湾工事の仮設工等における安全性向上に関する設計・施工等の技術的な検討を行う。

- 大規模仮設工等を伴う港湾工事の事例分析
- 仮設工の設計等に当たっての基本的な考え方、留意点
- 仮設工の種類毎の設計、施工に関する留意点 等
(委員会での検討を踏まえ、検討項目を適宜追加)

4. 成果の活用

とりまとめ成果を、「港湾の施設の技術上の基準」、「港湾工事共通仕様書」等に反映する。

5. スケジュール

技術的知見の蓄積・向上を目指して、平成 26 年度から 3 カ年程度をかけて港湾工事における大規模仮設工等に関して広く検討を進める。

構 成 員

(有識者)

磯部雅彦	高知工科大学 学長
高橋重雄	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 理事長
阿部雅二郎	長岡技術科学大学大学院 技術経営研究科 教授
菊池喜昭	東京理科大学 教授
大幢勝利	独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 労働災害調査分析センター長
山本修司	一般財団法人 沿岸技術研究センター 業務執行理事
大野正人	一般財団法人 港湾空港総合技術センター 業務執行理事
小泉哲也	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部長
山崎浩之	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 特別研究官

(業界団体)

福田功	一般社団法人 日本埋立浚渫協会 専務理事
尾崎雄三	一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事

(行政)

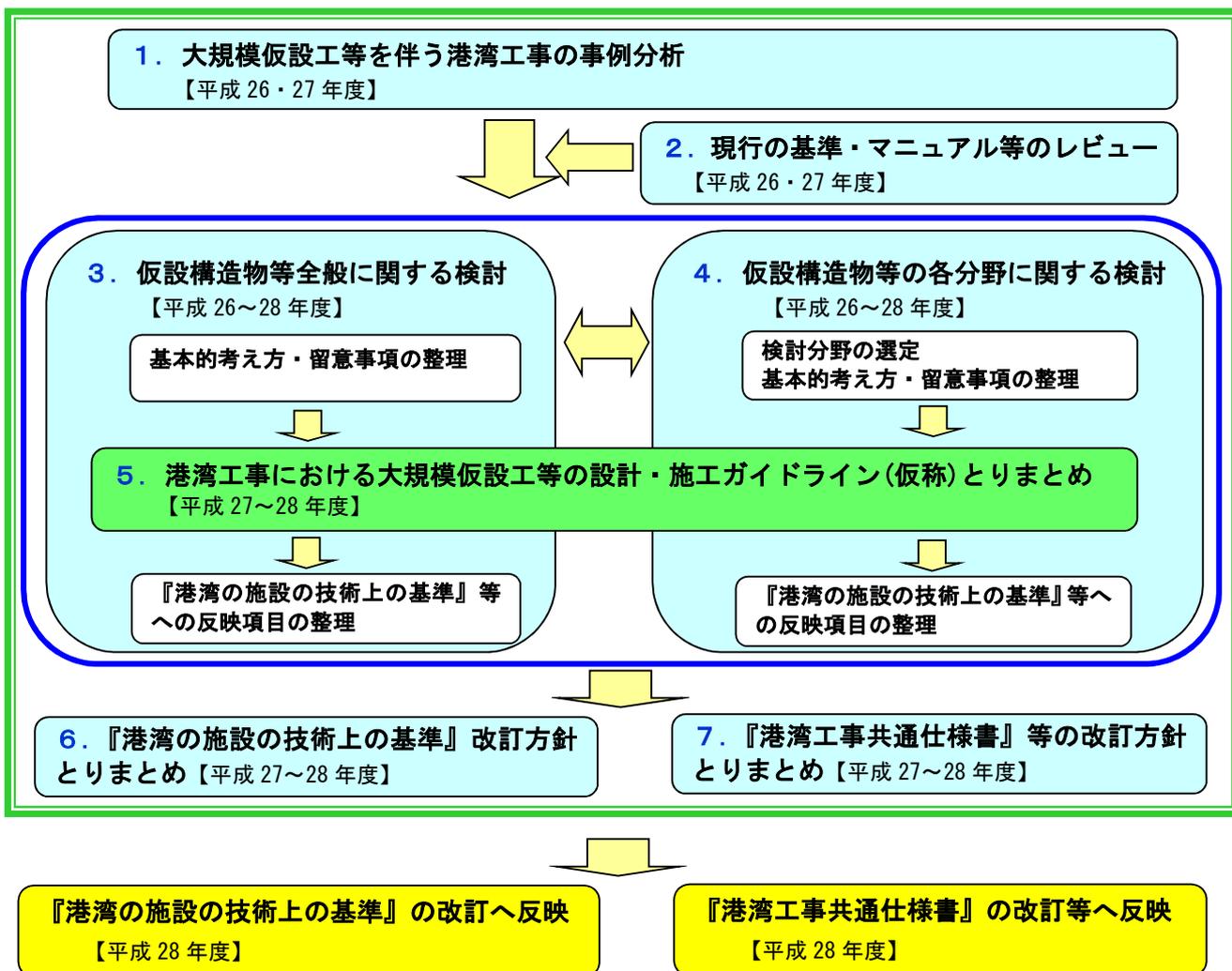
浅輪宇充	国土交通省 港湾局 技術企画課長
遠藤仁彦	国土交通省 港湾局 技術企画課 技術監理室長
加藤雅啓	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部長

(ワーキンググループ代表)

下迫健一郎	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 特別研究官
水谷崇亮	国立研究開発法人 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 基礎工研究チームリーダー
井山 繁	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施工システム・保全研究室長

事務局：国土交通省 港湾局 技術企画課

港湾工事における大規模仮設工等に関する技術検討委員会
検討スケジュール（案）



検討項目	平成 26 年度	平成 27 年度		平成 28 年度	
1. 大規模仮設工等を伴う港湾工事の事例分析	① ② 12月 3月				
2. 現行の基準・マニュアル等のレビュー	① 12月				
3. 仮設構造物等全般に関する検討	② 3月	③ 12月	④ 3月	⑤ 8月	
4. 仮設構造物等の各分野に関する検討	② 3月	③ 12月	④ 3月	⑤ 8月	
5. 港湾工事における大規模仮設工等の設計・施工ガイドライン(仮称)とりまとめ		③ 12月	④ 3月	⑤ 8月	
6. 『港湾の施設の技術上の基準』の改訂方針とりまとめ				⑤ 8月	⑥ 11月
7. 『港湾工事共通仕様書』等の改訂方針とりまとめ				⑤ 8月	⑥ 11月

※ワーキンググループは、適宜開催